

名古屋大学国際交流会館 RA（レジデント・アシスタント）研修及びハンドブックの発行

国際教育交流センター教育交流部門

渡部 留美・城所 佑委

名古屋大学には外国人留学生が渡日後半年間又は1年間入居できる留学生用の宿舎（国際交流会館）がいくつかある。そのうち、国際嚶鳴館、インターナショナルレジデンス山手サウスを除く会館（留学生会館、インターナショナルレジデンス東山、インターナショナルレジデンス山手ノース、石田記念インターナショナルレジデンス妙見、猪高町宿舎）に合計21名のRA（レジデント・アシスタント）が入居し、居住者（留学生、その家族、外国人研究員）のサポートを行っている。RAは本学の大学院生になることができ、公募による募集、選考を経て、任命している。

（1）国際交流会館関係者連絡会，RA研修

これまでRAに対する研修は年に1～2回、旧アドバイジング部門が実施していた。平成27年度は、学生交流課宿舎担当職員、国際教育交流センターアドバイジング部門、教育交流部門が連携し、RA研修を含めた国際交流会館関係者連絡会を下記の通り開催した。

表 国際交流会館関係者連絡会

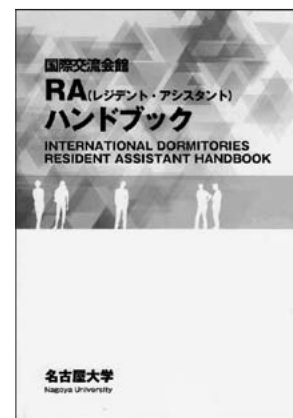
	日時	場所	内容
第1回	6月24日(水) 16:30-18:00	国際棟	RA研修
第2回	7月6日(月) 16:30-18:00	国際棟	RA研修
第3回	9月10日(木) 13:00-15:00	レジデンス 東山	秋季入居オリエンテーション準備
第4回	11月11日(水) 15:00-16:30	国際棟	入居オリエンテーションの振り返り、業務上の課題等についてディスカッション
第5回	1月27日(水) 13:00-14:10	レジデンス 山手	業務上の課題等についてディスカッション、RAの業務について
第6回	3月9日(水) 13:00-15:00	レジデンス 妙見	新規RA研修、春季入居オリエンテーションの準備

本連絡会では、国際教育交流センター、学生交流課、RAの三者が参加することで多面的に会館業務やRAの役割について認識することができ、それぞれの立場からの課題や成果も確認することができた。例えば、RAは元々「宿舎チューター」と呼ばれていたが、連絡会で「宿舎チューターだと一般的なチューターと混同され、宿題など学業面でのサポートを依頼されてしまう」というRAからの意見が出たことで、RAと改名することにした。

（2）RAハンドブックの発行

また、留学生支援事業を受け、RAのためのハンドブック（総64ページ）を同様の連携で作成した。200部発行し、RAや関係者に配布し、上記の連絡会（3月9日）にて使用した。主な内容について紹介するため目次を示す。

- I. RAになるには
- II. RA活動を行ううえで大切な姿勢
- III. RAの役割と業務内容
- IV. 災害時の対応
- V. Q & A
- VI. 関連資料
- VII. RA・アドバイザーからのメッセージ



RAハンドブック